

## 「セーザイゲーム」を活用した林業関係若手職員研修を行いました！

### 1 はじめに

県南広域振興局管内では、新規林業就業者の5年以内の離職が問題となっており、定着に向けた取組が望まれていました。

そこで、管内の若手林業従事者について、林業や木材産業に関する幅広い知識と技術を習得し自信と誇りを持った「次世代の林業の担い手」として育成するとともに、所属を超えた情報交換や課題共有ができる関係の構築を促進するため、標記研修を行いましたので、その概要を紹介します。

### 2 研修の概要

令和5年12月、管内林業関係団体で構成する胆江地方農林業振興協議会と当部が連携して、標記研修を開催しました。

参加者は、事業体、岩手南部森林管理署、奥州市の若手職員23名です。

研修では、自己紹介の後、「セーザイゲーム」による製材業模擬体験を行いました。

### 3 「セーザイゲーム」とは？

「セーザイゲーム」とは、熊野林星会（三重県）が三重大学と共同で開発し、ウッドデザイ

ン賞2023の優秀賞（林野庁長官賞）を受賞した、今話題のボードゲームです。

参加者はチームに分かれ、製材会社として丸太の競り・木取・販売を行い、どれだけ収益を上げられるかを競います。

### 4 研修の様子

有限会社阿部製材所（奥州市）の阿部高志代表取締役社長がコーディネーターとなり、5チームに分かれてゲームを行いました。

研修は大いに盛り上がり、参加者アンケートでも「製材所の仕事を理解できた」「老若男女楽しめると思う」「交流の場としてとても良い」「森林教室などで活用したい」「また開催してほしい」など好意的な意見が多く寄せられ、満足度は90点でした。

### 5 おわりに

今回の研修では、日ごろ馴染みのない「製材業」のシミュレーションを通じて、林業・木材産業を学ぶだけでなく、同年代の同業者と交流を深めることができました。

当部では、引き続き若手林業従事者の定着に向けた取組を進めていきたいと考えています。



【「競り」の様子】



チーム内で【「木取」を検討】